

# One Day

シュタイナー学園初等部

## 2年生のある1日



### 8:30 エポック授業

みんなで朝の詩を唱えて、1日が始まります。今日のエポックは算数。先生と一緒に体を動かしながら九九を暗唱したら、今度はクレヨンを使ってノートに描きます。色とりどりのクレヨンで描いていくと、美しさに心が動きます。

エポックの締めくくりは先生の素話。毎日ワクワクしながら一心に耳を傾けます。



### 12:15 昼休み

お楽しみのお弁当の時間。みんなで輪になってお弁当を広げます。お弁当が済んだら、みんなで手分けして掃除を開始。



### 13:00 専科授業

今日の午後の専科は英語。歌ったり、手遊びをしたりして、外国の言葉や文化を学びます。今週は英語の先生の人形劇。



### 8:10~ 登校

お家の人と木々の間を抜け歩いて登校。学校に着いたときには体もポカポカ。教室ではいつものように担任の先生が待っていて、やさしく握手でご挨拶。



### 10:15 中休み

長いエポック授業の後は、ほっと一息、おやつの時間。それから校庭でみんなと鬼ごっこして駆けまわります。



※シュタイナー学校での芸術教科で、言葉や音楽を身体を通して表現する運動芸術。

### 14:00 下校

帰りも先生と握手をしてから下校します。放課後はお家でゆっくりと過ごします。



ご紹介したのは一例ですので、内容は変わることもあります。

**白田** 自分のなかでひとつづつ終えて、次に進むということですね。ある生徒で、音楽は自分にとつてずっと必要で大切なものだけれども、勉強したいことはまた別にあるので、音楽は趣味として続けて、進路は違う道を選ぶというのもありましたね。

**浦上** そうですね。ヨーロッパのシュタイナー学校の卒業生などには、銀行の頭取になっても自分でセーターを編んだり、ヴァイオリンを弾いたりされる方がいらっしやると聞きますが、そういう豊かさがこの生徒たちにはあると思いますね。

**白田** 1年生のときは教室に入座して泣いて先生の膝の上に座っていたような生徒たちも、この卒業プロジェクトで成長した姿を見せてくれると、親心にも似たような気持ちがありますね。

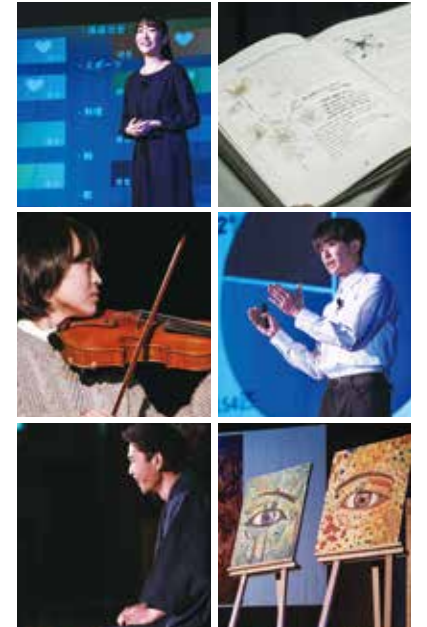
**木村** 発表を見ていて、人間は美しいなと思いました。変わっていく成長の姿。そして、まだまだ伸びしろがたっぷりである、生徒たちの可能性を感じます。

**浦上** 卒業プロジェクトの発表を終えて、生徒たちと振り返りをしました。発表がうまくいった生徒、思うようにいかなかった生徒、それぞれに素晴らしい気づきがありました。

**木村** 学園の子どもたちは、小さなころから人前で発表することも多く、受け身でなく、自分たちでいろいろなことを積み上げてきているので、そのなかでしっかりと「自信」をつけてきている。「通過儀礼」や「元服」といった言葉がありますが、そういう意味では、卒業プロジェクトは学園最後の「通過儀礼」として位置づけられるのかもかもしれません。最後の卒業プロジェクトを乗り越えた生徒たちは、通過儀礼を乗り越えたときと同じような自信をそこで手にしていると思います。特にそういった機会がなくなってきた今、学校教育の場で、生徒たちにそのような経験をたくさんさせてあげたいと思っています。

### 23期生 卒業プロジェクトテーマ

- 幸せを結ぶドレス
- 働く・働ける・働きたい
- 有機農業
- 人間らしい生活
- さまよう幽霊～自分ではない誰かになるとは～
- 昆虫食のむかしといまとこれから
- 推しごと
- 音楽の力～音楽と植物と人間～
- 楽曲制作～ミュージックイズマイライフ～
- 心に響く声
- あそぼう!子どもたち～「遊び」の理想と大切さ～
- 日本人的言動について考えてみた!?
- 怖くないよ!繋がりたい!『統合失調症』
- 笑い
- やっぱり牛が好き
- 未来をつなぐドッグトレーニング
- 蹴っ飛ばす
- 映画音響の力
- “100”
- 自分と人を愛する方法～発達障害を通して～
- パピーミル～犬が飼い主を見つけるまで～
- ふぐの美味しさについて
- 『未完組曲』
- 十二年劇を通して
- Sole
- 重さ～馬を撮る～
- 海面上昇
- I am a cat (〇〇は猫である)
- ゴミ～クロアシアホウドリの海洋ごみ問題～
- 言葉の芸術
- 目を描く
- ミニチュアの魅力



**Yoshihito Kimura** アメリカのドルフ・シュタイナー・カレッジで教員養成を修了後、3つのシュタイナー学校で6年間教員として携わる。  
**木村 義人** 帰国後1～8年までのクラス担任を2度務め、現在はシュタイナー学園美術専科教員と理事、中等部校長を務める。

**Yuko Urakami** シュタイナー学園英語専科教員、12年生クラスアドバイザー、高等部校長。2006年よりNPO法人藤野シュタイナー高等学園及びシュタイナー学園高等部で英語担当。15、18、22期生の保護者でもある。

**Hiroko Shirata** 大学でシュタイナー教育と出会い、国内のシュタイナー教育教員養成講座で学び始める。土曜クラス担任  
**白田 拓子** を経て、現在はシュタイナー学園で故不二陽子先生の志を継ぎ国語を教える。